

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	39740 青少年健全育成活動費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
① (青少年育成市民会議)(青少年問題協議会)		14	青少年の健全育成	根拠法令	旭市青少年問題協議会条例等	10	4	1	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
② 青少年の健全育成の推進		28	青少年の健全育成の推進	戦略事業	136 青少年育成市民会議の推進				
③ 青少年問題協議会の開催				戦略事業	137 青少年問題協議会の開催				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	① 青少年育成市民会議：地域と行政が協働して意見発表会などを通じて青少年の健全育成を行う。市は育成市民会議に補助金を交付する。 ② 青少年問題協議会：青少年の指導等に関する総合政策について調査審議する。市は事務局事務を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
家庭と地域・学校等各団体間の協力体制並びに組織体制づくりによる密接な連携のもと、体験学習や実践活動を通じて地域との関わりや世代間交流を促進し、社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。	青少年を取り巻く社会環境は、親子のふれあい不足、地域での人間関係の希薄化や地域活動への関心の薄れ、子どもたちの異年齢間での遊びの減少などが指摘されている。一方、従来の万引、喫煙、深夜はいかいなどに加え、パソコンや携帯電話によるインターネットの利用から発生する問題は、ますます多様化、低年齢化の傾向にある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
学校、家庭、地域社会、関係機関が一体となった青少年の健全育成活動の取り組みの充実が求められている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.負担金及び交付金	180	補助金(育成市民会議)	180	180	180	180	180
2.需用費	53	啓発用品購入代、記念写真印刷代	54	89	77	53	56
3.委託料	21	手話通訳委託料	21	21	19	21	33
4.使用料及び賃借料	82	東総文化会館使用料	89	106	70	82	83
事業費計(A)		千円	344	396	346	336	352
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.国庫支出金	0						
2.都道府県支出金	0						
3.地方債	0						
4.その他	0						

従事職員数 常時 2人 最大 5人 × 60日 = 延べ 300人

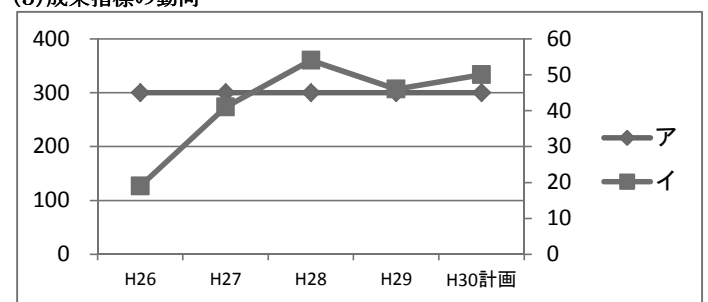
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
⇒	29年度実績(29年度に行った主な活動) <<青少年育成市民会議>> 啓発運動・青少年意見発表大会 <<青少年問題協議会>> 会議及び講演会の開催	ア <<市民会議>>意見発表大会の発表人数	人	14	14	14	13	15
		イ <<問題協議会>>会議の回数	回	1	1	1	1	1
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
⇒	対象 <<市民会議>>6歳から24歳までの青少年 <<市民会議>>社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。 対象意図 <<問題協議会>>6歳から24歳までの青少年の指導・育成者 <<問題協議会>>青少年に関する総合的施策について意見交換と連絡調整を図る。	ア <<市民会議>>青少年意見発表大会の来場人数	人	300	300	300	300	300
		イ <<問題協議会>>会議及び講演会等の参加人数	人	19	41	54	46	50

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③	(2)		
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	26年度	27年度		28年度	29年度	30計画				
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	・講演会が平日の日中の開催であったこと、参加対象者が他の事業と重複していたことにより出席者が少なかったため													
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()						
	①平成30年7月	①インターネットの適正利用に関する講演			今後の方向性					青少年に関する問題は複雑かつ深刻化しているため、今後も各種団体等がそれぞれの立場で青少年の健全育成を推進する。					
	②平成30年11月	②青少年意見発表大会では、司会を市内中学生、アトラクションを市内小学校音楽部にお問い合わせし実施する。													